

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント
— 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

1. 寝たばこは、絶対やめる。
2. ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
3. ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

1. 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
2. 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
3. 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
4. お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

《住宅防火いのちを守る7つのポイントの意義》

●火災を発生させない、燃え広がらせない
(習慣1～3、対策2)



●早く知る・気づく(対策1)



●火災の初期の段階で消火する(対策3)

・一般的に人の背の高さより小さい火炎に対する消火



●危ないと判断したら、すばやく避難する ※

・火炎が天井に達した、煙が充満、初期消火に失敗した等

隣近所の協力

による対応

(対策4)



※日頃から火災時の避難の方法・経路等について検討しておくことが重要